

CubeSuite+用RL78ファミリ, 78K0R, 78K0 コード生成 ご使用上のお願い

CubeSuite+用RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成 CubeSuite+ Code_Generator for RL78_78K
の

注意事項

- RL78/G13およびRL78/G14グループ用コード生成を使用する場合の注意

1. 該当製品

CubeSuite+用RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成
CubeSuite+ Code_Generator for RL78_78K V1.00.04 および V1.00.05

以下の手順でバージョンを確認できます。

- (1) Windowsの"プログラムの追加と削除"を開く。
- (2) リストにあるCubeSuite+ Code_Generator for RL78_78K のアイコンをクリックする。
- (3) "サポート情報を参照するには、ここをクリックしてください。" をクリックするとバージョンが表示されます。

2. 内容

該当製品に含まれるRL78/G13グループ用コード生成およびRL78/G14グループ用コード生成に以下の問題があります。

- (1) RL78/G13グループ用コード生成
 - a. 80ピン、100ピン および 128ピン MCUの
タイマTAU1~TAU7への方角波出力を設定するためのコードを出力した
場合、本来はTAUxを制御するTOM1およびTOL1レジスタが設定されなければ
ならないが、TOM0およびTOL0レジスタが設定されます。

b. ポート設定でP10および P11のTTLチェックボックスが表示されません。

(2) RL78/G14グループ用コード生成

a. 端子割り当て設定で、レジスタPIOR01 および PIOR04 を1に設定するコードを出力した場合、INTP10およびINTP11の端子割り当てに以下のとおり誤りがあります。

正:	誤:
P100 → INTP10	P110 → INTP10
P110 → INTP11	P111 → INTP11

b. 80ピンおよび 100ピンMCU用のコードを生成する際、タイマTAU1の機能選択で "インターバル" しか選択できません。

c. 80ピンMCU用のUART2と、ポート13および14以外のポートを設定するためのコードを出力した場合、ビルド時にエラーが発生します。

発生例 :

UART2を設定し、ポート10, 11および12を出力へ設定すると以下のコードが出力されますが、最後の"|"が不要です。

誤: PMC1 = . . . | _80_PMCn7_NOT_USE | ;

正: PMC1 = . . . | _80_PMCn7_NOT_USE ;

これをビルドするとエラーが発生します。

3. 回避策

RL78/G13およびRL78/G14グループMCUのハードウェアマニュアルを参照し、出力されたソースコードを修正してください。

4. 恒久対策

CubeSuite+ の次期バージョン (2012年 年末リリース予定) で改修する予定です。リリースまでに対策が必要な場合は、以下のWebページからご相談ください。

技術問合せ : <https://www.renesas.com/support/contact.html>

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。